

# 法政大学学術機関リポジトリ

## HOSEI UNIVERSITY REPOSITORY

PDF issue: 2025-12-08

### 〈研究ノート〉パリ外国宣教会における上海の位置付け：日本で活動した宣教師を中心に

ル・ルー清野, ブレンダン / LE ROUX KIYONO, Brendan

---

(出版者 / Publisher)

法政大学国際文化学部

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

異文化 / Bulletin of the Faculty of Intercultural Communication : Ibunka

(巻 / Volume)

26

(開始ページ / Start Page)

134

(終了ページ / End Page)

148

(発行年 / Year)

2025-04-01

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00031269>

【研究ノート】

## パリ外国宣教会における上海の位置付け

——日本で活動した宣教師を中心に——

ル・ルー清野 ブレンダン

LE ROUX KIYONO Brendan

### 0. はじめに

#### ・本研究のきっかけ

2019年に今のところ最後となっているキリスト教史関係の研究成果として「ジャポノロジーことはじめ—パリ外国宣教会の日本学とその背景」(友田昌宏編『幕末維新期の日本と世界：外交経験と相互認識』吉川弘文館, 2019.3)を執筆してから、長年追究してきた宣教師というテーマから少し離れていた。ところが、2023年中に科研費の共同研究への誘いがあった。当時申請予定であったそのプロジェクトが幸運にも採択され、2024年度から「上海フランス租界(1849–1943)の文教活動に関する多言語で領域横断的な研究」という共同研究が発足した。

そのおかげで、以前から意識していたパリ外国宣教会(Missions Étrangères de Paris, 以下 MEPと略す)の東アジアにおけるネットワークについて研究するチャンスが訪れ、特に上海との関係について焦点を当てようと思う。

#### ・本研究ノートの目標

2023年9月に行われた「キリスト教史学会 第74回大会」での研究発表に基づいて、本研究ノートは上記の研究への草分け的作業として位置付けたい。具体的には、今まで収集してきた膨大な史料の整理を通じて上海と在日本MEP宣教師の関係を追究したいと考えているが、ここではとりあえず在日本MEP宣教師にとっての上海(と中国)の役割を現段階で紹介したい。

#### ・先行研究の整理

CiNiiで検索すると、「上海+宣教師」で該当研究はなく、「上海+カトリック」の場合は「近現代の上海におけるカトリックの社会福祉活動及びその意義」(2008)及び「時代を生き抜く修道女たち—20世紀中国上海におけるカトリック修道女のライフヒストリー」(2005)という

二つの論文しか表れていない。「パリ外国宣教会」だけで検索すると研究が確かに多岐に亘り多いが、こちらの研究に近いものが管見のところないと思われる。

フランス語で人文科学系の学術雑誌等を所蔵する OpenEdition や Persée で検索しても、なかな該当するような論文が出てこない。その理由は、以下の書籍の紹介文にあるかも知れない。“The first scholarly work on the subject by leading scholars in the field, *Missions Étrangères de Paris (MEP) and China* examines the variety of ways in which MEP missionaries complemented and complicated Catholic Church and French engagement with Chinese society. [...]” (*Missions Étrangères de Paris (MEP) and China from the Seventeenth Century to the Present*, Editor: Ji Li, Brill, 2021, <https://brill.com/edcollbook/title/60996>)

つまり 2021 年以前に中国における MEP の活動に特化した研究がほとんどなかったということで、その中で上海と MEP との関係も同様であると考えられるので、これからも様々なテーマについて研究する余地があると言っても過言ではない。

## 1. 史料整理

### 1-1. パリ外国宣教会資料館

2019 年に、パリ外国宣教会資料館 (Archives des Missions Étrangères de Paris, 以下 AMEP と略す) の資料を保管・運用するための施設として Institut de recherche France-Asie (IRFA, フランス・アジア研究所) が設立された。その目標を、MEP の歴史的遺産を「保存し、活用させ、そして全てのアジア愛好家に提供する」として掲げている (<https://irfa.paris/irfa/linstitut-de-recherche-france-asie/>)。確かに、ホームページが綺麗で見やすく、史料目録も充実しており、研究環境全体が改善されたと言えよう。しかし一方で、写真撮影が自由にできなくなったことが短期出張でしか訪れられない史料館の場合、かなり困る。現に、24ヶ月ごとに複写を 50 枚まで有料で申請できるのみとなってしまった。

幸いなことに、2004 年以降数回に分けて資料調査を行い、約 7700 枚の写真を撮影することができた。量があまりにも多いので、未だに全てを解読・分析ができていない。どのような資料があるのかについて、付録に掲載してある「AMEP 史料整理\_20250106」を参照してもらいたい。上海に関する資料も数多く含まれているので、これからもこれらの資料を解読・分析する必要がある。

### 1-2. 教皇庁宣教事業団

在日 MEP 宣教師との関わりが深いのに今までほとんど使われてこなかった教皇庁宣教事業団 (Œuvres Pontificales Missionnaires, 以下 OPM と略す) がフランスのリヨンで保管している布教事業団 (Œuvre de la Propagation de la Foi, 以下 OPF と略す) の史料について言及する必要がある。

まず OPF の和訳について説明を加えよう。宮里は「布教事業団」(宮里, 2016, p.113,

p. 120), 宮崎は「信仰広布会」(宮崎, 2016), そして拙稿では「信仰布教慈善団体」(ル・ルー, 2012, p. 26) として訳している。上記宮里論文にこう記されている。「宣教師たちがこの団体の委員に宛てた手紙を, フランシスク・マルナス著『日本キリスト教復活史』を訳した久野桂一郎氏が, 「布教中央事業委員会委員宛て」と訳していることを参考し, ここでは「布教事業団」と訳した。」確かに, ローマ教皇グレゴリウス15世によって1622年に設置された, ローマ教皇庁の聖省のひとつであり, 1967年に改名される前に「布教聖省」(Sacra Congregatio de Propaganda Fide) として知られていた「福音宣教省」(Congregatio pro Gentium Evangelisatione) の旧称の和訳を考えてみると, ラテン語の Propaganda Fide がフランス語の Propagation de la Foi と同じ意味なので, ここでは OPF を宮里と同様に「布教事業団」と訳すのが妥当と考える。

OPF は, リヨンの絹商人の娘で MEP 宣教師の妹であった Pauline-Marie Jaricot によって, 世界へのカトリック布教を経済的に援助するために 1822 年にリヨンで創立された民間団体である。会の仕組みは簡単かつ巧妙であった。会員は毎週 1 スー (フランスの当時の通貨フランスの 20 分の 1, つまり 5 サンチーム) を寄付し, 10 人の新しい会員を募ることで組織とその寄付金が急激に拡大した。フランス全国の教会に寄付箱が置かれるようになるほど人気の団体になっていった。集まった寄付金は全て MEP に移転された。また, OPF は *Annales de la propagation de la foi* (「布教年報」) という文集を, アジア等の宣教状況をフランス本土の信者に伝え宣伝する目的で定期的に刊行した。かなりの冊数のデジタル版はフランス国立図書館のホームページで閲覧可能となっている。

OPF は, 上記の「布教年報」以外, MEP 関係の史料をたくさん保管している。その目録 (Catalogue des Archives de l'Œuvre de la Propagation de la Foi 1822-1924, Fonds de Lyon) から, 特にアジアからの書簡を綴った「SERIE E: Lettres en provenance des missions d'Asie」が本研究と関係があると考え, その中にある中国(CHINE)関係の一覧表を以下に掲載する。ただ残念なことに筆者が 2017 年に史料調査のため OPF 資料館を訪れた際, 日本関係の史料しか撮影していないので, リヨンへの更なる史料調査が避けられないであろう。

Cotes	Libellés	dates
E 108	1 - Hong-Kong : Vicariat apostolique 2 - Procure des Missions Italiennes et de la Propagande 3 - <u>Procure des Missions Étrangères de Paris</u> 4 - Procure des Missions Étrangères Espagnoles 5 - Religieuses Canossiennes	1842-1921 1842-1891 1853-1909 1861-1866 1865-1890
E 117	Macao : 1 - Évêché 2 - Procure des Missions Italiennes 3 - Procure des Missions Espagnoles 4 - <u>Procure des Missions Étrangères de Paris</u>	1836-1921 1838-1841 1840-1860 1833-1850
E 119	Évêché de Nankin	1843-1856
E 120	Shanghai - Procures	

## 2. 中国における (MEPの) 「Procure」について

OPF 史料の上記の一覧表に何ヶ所かに「Procure(s)」という単語が表れている。MEP と上海との関係について考える時に非常に重要なキーワードであるので、まずその概要や設立経緯等をフランス・アジア研究所 IRFA の資料を使って説明する。

【資料 1】(左が原本、右が筆者による和訳。[ ] は筆者による加筆。)

Les procures de Hongkong et Macao	香港とマカオの会館
<p><i>Installation de procures pour faciliter les échanges avec Paris</i></p> <p>Les rapports des missions avec le Séminaire de la rue du Bac sont assurés par des maisons de correspondance appelées procures. Celles-ci offrent l'hospitalité aux missionnaires en route pour leurs missions d'Extrême-Orient ou de retour vers la France, et elles reçoivent et transmettent à leurs destinataires les objets expédiés du Séminaire, de l'argent, etc. Véritable appui matériel pour les missionnaires, elles sont administrées par un procureur, qui joue le rôle d'intermédiaire entre le Séminaire de Paris et les missions d'Asie. En Chine, la procure déménage à plusieurs reprises :</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1685 : création de la procure de Canton</li> <li>- 1732 : transfert de la procure de Canton à Macao</li> <li>- 1847 : transfert de la procure de Macao à Hongkong</li> <li>- 1864 : création de la procure de Shanghai</li> </ul> <p>Le procureur, père supérieur placé à la tête de la procure, décide des destinations des missionnaires en Chine.</p> <p>En 1847, le P. Libois, procureur depuis cinq ans, transfère la procure de Macao à Hongkong où « l'administration libérale anglaise est plus accueillante et prometteuse que le contrôle portugais » [...]. En 1864, il installe la procure à Shanghai pour répondre à une demande pressante de nombreux missionnaires de Chine. Le P. Pierre-Xavier Cazenave en devient le premier procureur. Facile d'accès, la procure de Shanghai devient une importante source de financement grâce aux possibilités offertes dans la concession française.</p>	<p>パリとの連絡・交流の助けとしてのプロキュールの設立</p> <p>宣教師たちとバック通り [MEP のパリの住所] の神学校との関係は、プロキュールと呼ばれる文通宿 [通信宿、通信館?] によって保たれていた。プロキュールは極東に向かう宣教師やフランスに戻る宣教師のもてなしを行い [①]、[MEP の] 神学校から送られた物品、金銭などを受け取り、宛先に転送した [②]。宣教師たちに物質的な支援を提供するプロキュールは、パリの神学校とアジアの宣教地との仲介役を務める館長によって管理された。中国におけるプロキュールは何度か移転した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>- 1685 : 広東プロキュールの設立</li> <li>- 1732 : 広東からマカオへのプロキュール移転</li> <li>- 1847 : マカオから香港へのプロキュール移転</li> <li>- 1864: 上海プロキュールの設立 [→後述]</li> </ul> <p>宣教師が中国のどこに行くかは、上長神父であるプロキュール館長が決定した。</p> <p>1847年、5年前から館長を務めていたリボワ神父は、「ポルトガルの統制よりもイギリスの自由な管理の方が快く有望であった」[中略] 香港にマカオのプロキュールを移転させた。1864年、リボワ神父は、中国における多くの宣教師たちからの切迫した要請に応えて、上海にプロキュールを設立 [= 移転→後述] した。ピエール=グザヴィエ・カズナーヴ神父が初代館長となった。アクセスしやすい上海のプロキュールは、フランス租界が提供する様々な機会のおかげで、重要な資金源となった。」</p>

(IRFA, 2021 年 11 月 2 日, p. 14-15)

### 3. 中国のProcureと在日 MEP 宣教師との関係

#### 3-1 「もてなし」

史料1から、「プロキュールは極東に向かう宣教師やフランスに戻る宣教師のもてなしを行」うために設立された施設であることが読み取れる。以下はそのような「もてなし」を示すいくつかの事例を提示する。

##### ・【史料2】

« Comme missionnaire du Japon et au défaut d'un supérieur de cette mission je me permets de protester contre un acte de Mr Libois qui voudrait imposer à la mission les frais du voyage des trois premiers Missionnaires. Le règlement porte que les missionnaires sont à la charge de la Procure jusqu'à leur arrivée en Mission, c'est ce qui s'est toujours pratiqué dans notre société, et c'est ce qui doit toujours avoir lieu sans aucune exception. Mr Libois, tout seul, n'a pas le droit d'y rien changer. Les \$800 doivent donc être remboursés à la mission. » [AMEP 568-2 Japon (1850-1860) lettres de Mounicou]

ムニクー<sup>1</sup>より MEP 神学校宛の書簡（香港、1855年4月14日付）：MEP の会則によると、宣教師達は与えられた宣教地に到着するまでプロキュールの管轄下に置かれているので、宣教地への旅費等はプロキュールの予算から出すべきだという主張が読み取れる。

##### ・【史料3】

« L'opposition que je rencontrais au projet ci-dessus mentionné m'a empêché de voir MM. Les Lazaristes comme j'eusse désiré de le faire. J'ai bien passé trois jours dans leur procure, mais ces Messieurs étaient tellement bousculés par la troupe d'officiers qui étaient comme moi descendus chez eux que je n'ai pas trouvé un moment pour m'entretenir avec Mgr De La Place dont je désirais de faire la connaissance. » [AMEP 569 Japon (1839-1862) lettres de Mounicou]

ムニクーよりリボワ<sup>2</sup>宛の書簡（Gutzlaf島沖（浙江省）、1856年5月4日付）：香港を離れて日本へと向かっているムニクーは浙江省・寧波にあるラザリスト会<sup>3</sup>のプロキュールに3日間滞在したことが読み取れる。MEP の宣教師が別の宣教会であるラザリスト会のプロキュールでももてなしを受けることがあったという事実もここで言及に値すると考える。

##### ・【史料4】

<sup>1</sup> Pierre MOUNICOU, 1825-1871。1848年から香港に滞在し、1856年に初来日した MEP の宣教師。

<sup>2</sup> Napoléon LIBOIS, 1805-1872。1837年から帰国する1866年まで、マカオそして香港において MEP の中心人物として中国の宣教活動を支持・指示した MEP の宣教師。

<sup>3</sup> ヴィンセンシオの宣教会の通称。ヴァンサン・ド・ポール（のちの聖ヴィンセンシオ・ア・パウロ）によって1625年に創立されたカトリックの宣教会。1773年に禁止となったイエズス会に代わって、18世紀末以降中国での活動を展開した。

« Il y a déjà un Missionnaire de trop à Loutchou : Deux suffiraient. Or Le nouveau Missionnaire attendrait peut-être longtemps à la Procure. Or je crois qu'un long séjour à la Procure non expedit pour la plupart des Missionnaires. Vous me comprenez. On s'y ennuie bien vite. » [AMEP 568-2 Japon (1850-1860) lettres de Mermet (Ryū-Kyū Hong-Kong)]

メルメ<sup>4</sup>より MEP 神学校幹部(« Bien cher et Vénéré Supérieur »)宛の書簡(香港, 1857年4月14日付)：プロキュールは宣教師が宣教地へ派遣されるまで滞在・待機する場所ではあるが, そこでの滞在は長くない方が良く, 長くなるとすぐ退屈するという意見が読み取れる。宣教師なら宣教地に早く派遣されたいという裏の意味も含まれているであろう。

#### ・【史料5】

« Me voici donc prosaïquement [sic] installé chez le bon Père Aymeri. Sa procure n'a pas extérieurement une mine bien gentlemene [sic]. Cependant on y trouve tout le confortable. C'est l'image de son procureur qui, comme les vieux arbres de nos forêts, à [sic] une écorce un peu d'un autre siecle [sic], mais renferme un miel excellent. » [AMEP 569-1 Japon (1839-1862) lettres de Mermet (Ryū-Kyū Hong-Kong Shanghai)]

メルメより MEP 神学校幹部宛の書簡(上海, 1858年7月12日付)：日仏修好通商条約の交渉に参加するため江戸へと向かっている途中, メルメは上海のラザリスト会のプロキュールに滞在するが, そのプロキュールが外見的に見て良くないとは言え, 居心地が良いということが読み取れる。

紙幅の関係でここで述べられない他の事例を考慮すると, もしかするとプロキュールでのもてなしに関して言えば, 香港より上海, MEP よりラザリスト会の方が質が良かったのかも知れない。その点を更なる史料調査に委ねたい。

### 3-2. 物品・金銭・文通の仲介

一方, 史料1からプロキュールは MEP の「神学校から送られた物品, 金銭などを受け取り, 宛先に転送」する役割も担っていたことが読み取れる。以下はそれに関するいくつかの事例を提示する。現段階では, 博士論文(ル・ルー, 2012)の中心人物であるメルメと中国(香港・上海)のプロキュールとのやり取りの例が最も多いので, それ以外の宣教師に関する例をこれから集め続ける必要がある。

#### ・【史料6】

« Depuis mon arrivée ici, M. Libois ne cessait de faire entendre à mes confrères et à moi, qu'en vertu

<sup>4</sup> Eugène-Emmanuel MERMET-CACHON, 1828-1889。1855年2月から琉球に滞在し, その後1858年の日仏修好通商条約の交渉のため通訳として江戸に少しの間滞在し, 翌1859年11月から1863年6月まで箱館に滞在した。

d'ordres par lui reçus de vous, il appartenait à lui seul de juger de l'opportunité d'employer et de nous remettre par conséquent, l'argent qu'il avait entre les mains pour notre mission du Japon.—Un projet de tentative aux Kouriles, au Japon, ou même simplement aux îles Lieou-Kieou, paraissait-il sur le tapis : « Moi, disait M. Libois, j'ai des ordres de nos Messieurs de Paris, et d'abord je ne donne pas un sou ! » » [AMEP 568-1 Japon (1844-1849)]

フォルカード<sup>5</sup>より MEP 神学校校長各位宛の書簡（香港、1849年10月10日付）：資金の用途と運用について、香港のプロキュール長リボワとの間で齟齬が生じていることが読み取れる。リボワが資金に対する一切の権限を持っていると主張しているのに対し、フォルカードの考えでは日本へ派遣された宣教師達の資金用途計画を重視すべきである。

そのような MEP の限られた貴重な資金の運用に関する問題・齟齬は、その後度々（というよりも割りと頻繁に）現れ続けたと言える。

#### ・【史料7】

« Un jour arrive à la procure une lettre de son Excellence le gouverneur de HongKong à mon adresse. Un naufragé Japonnais [sic] a été recueilli en mer, y était-il dit, veuillez avoir la bonté de venir nous servir d'interprète. Jugez de ma joie. La pêche sera pour moi pensai-je. C'est un de nos paroissiens. Je vais ou plutôt je vole au bureau du gouvernement. » [AMEP 568-2 Japon (1850-1860) lettres de Mermet (Ryû-Kyû Hong-Kong)]

メルメよりパリ神学校幹部宛の書簡（香港、1857年4月14日付、史料4と同じ書簡）：イギリスの香港総督からの手紙がメルメ宛にプロキュールに届いたとの報告が読み取れる。その送られてきた手紙の内容は、日本人の漂流民が救済されたので、1年半以上琉球で日本語（と琉球語）を学んだメルメに通訳をして欲しいというものである。ついでに、イギリスの総督がフランスの宣教師の援助を求めるこども当時の中国における西洋諸国との関係・交流について興味深い現実を示してくれていると言える。

#### ・【史料8】

« Je ferai tous mes efforts pour me fixer à Iedo. Si l'occasion favorable se présente, je désire acquérir [sic] un terrain pour les Etablissements de la Mission. J'emprunte 50 [?] piastres du Père Aymeri ; J'espère avoir votre approbation. Si J'avais eu le temps de vous consulter Je l'aurais fait sans aucun doute. »

[AMEP 569-1 Japon (1839-1862) lettres de Mermet (Ryû-Kyû Hong-Kong Shanghai)]

メルメよりリボワ（と思われる宣教師）宛の書簡（上海、1858年8月21もしくは31日付）：

<sup>5</sup> Théodore FORCADE, 1816-1885. 1842年に MEP 神学校に入り、翌1843年にマカオへ赴き、リボワのものでプロキュールの副責任者として務めた。1844年から2年ほど琉球に滞在したが、布教活動がほぼ皆無であった。1846年に日本使徒座代理区の初代代理区長に任命されたが、日本（本土）に渡ることはなかつた。

香港を出てフランス全権大使ジャン=バティスト・ルイ・グロ男爵 (Jean-Baptiste Louis Gros, 1793-1870) と共に江戸へと出発する機会を上海で待機しているメルメが、エームリ神父<sup>6</sup>より 50 ドルを借金したとの報告が読み取れる。江戸に居残り、そこで MEP のために土地を購入したいことも述べているので、その金額を土地購入に充てたいとメルメが考えていたと考えられる。エームリ神父が MEP ではなくラザリスト会の宣教師であることから、プロキューの利用以外にも金銭的な貸借も宣教会間で行われていたことが分かり、大変興味深い事実である。

・【史料9】

« Janvier 17 ..60

*R 16 fev 1860*

Mon Cher Père,

Je vous suis infiniment reconnaissant pour la diligence que vous avez mise à envoyer mes effets, J'en avais un grand besoin. Je viens encore vous importuner une seconde fois pour de petites commissions : donc Mon Cher Père, veuillez etre [sic] assez bon pour m'envoyer quelques beaux cierges que les Elèves des M<sup>os</sup> font si bien et un petit fourneau à la premiere [sic] occasion, je n'ai pas besoin de tuyaux [sic].

Il est impossible de se procurer ici de la cire. Le Commandant du Cruzer qui vous connaît [sic] se chargera volontiers de ces petits objets.

Je vous envoie pour Etrennes une boîte de bonbons japonais. Veuillez les agréer comme une petite marque de ma respectueuse amitié.

E. E. Mermet

Je pense que nos chers confrères de Corée sont partis. Ma lettre leur arrivera donc toujours assez tôt à Shanghai pour leur etre [sic] expédiée. Je vous l'Enverrai ouverte afin que vous puissiez vous même [sic] avoir qqes [sic] détails sur ma vie à Hakodate.

3 ½ cierges » [AMEP 0659-3 Mermet (Archives des Lazaristes à Rome (1))]

メルメよりエームリ宛の書簡 (箱館, 1860年1月17日付) : 1859年11月に箱館に着任したメルメが、エームリに送ってもらった私物の送付について感謝の一言を述べた後、日本(ましてや蝦夷地)ではなかなか手に入らない必需品(大ロウソク, かまどもしくは炉, 蟻)の

<sup>6</sup>「アンジュ=ミシェル・エムリー, 高幕理 KAO MOU-LI, 司祭。1820年12月6日, ピエモンテ(イタリア) [中略] に生まれる。[中略] 1848年6月21日, マカオ [澳门] に到着。北京教区の宣教師となり, 1849年4月15日に着任。1857年, 上海を本拠地とするラザリスト会中国伝道総監に任命される。1880年3月6日, 上海で死去。墓場も上海にある。」(Van Den Brandt, 1936, p. 52-53)

購入を依頼していることが読み取れる。と同時に、新年の挨拶のプレゼントとして和菓子を送付することも記載されている。また、朝鮮へと既に出发したであろうという宣教師達に宛てた手紙も同封しているので、MEPにとっての上海におけるラザリスト会のプロキュールの「物品・金銭・文通の仲介」としての役割が明確である。

上記のように、メルメは日本（箱館）で入手できない日常品・必需品等を上海（ラザリスト会のエームリ）経由で依頼することが史料から頻繁に見られる。当時の東アジアにおける海路の状況を考えれば、横浜・江戸経由のルートより上海経由のルートの方が便利且つ早いとメルメが判断したのではないかと考えられる。（実際、横浜・江戸から送ってもらったはずのモノはなかなか届かないと嘆いているメルメの姿も別の史料から見られる。）

#### 4. MEPの上海における Procure の必要性

最後に、1864年に設立された上海でのMEPのプロキュールに関する問題・議論がいつから現れたのかについて、いくつかの史料に基づいて考えてみよう。

まず【史料1】を基に在中国MEPプロキュールの設立・移転の経緯を確認しておこう。当初の1685年に広東にプロキュールが設立されたが、1732年にそれがポルトガル領のマカオへと移転した。約100年後の1847年に、「5年前から館長を務めていたリボワ神父は、「ポルトガルの統制よりもイギリスの自由な管理の方が快く有望であった」香港にマカオのプロキュールを移転させた」ことも記載されている。

上海のプロキュールに関しては、【史料1】に「1864：上海プロキュールの設立」(« 1864 : création de la procure de Shanghai »)と一覧表のように書いてあり、さらに説明文の中に「1864年、リボワ神父は、中国における多くの宣教師たちからの切迫した要請に応えて、上海にプロキュールを設立した」(« En 1864, il [Libois] installe la procure à Shanghai pour répondre à une demande pressante de nombreux missionnaires de Chine. »)という記載がある。【史料1】のそれらの記述だけでは、1864年の時点で香港のプロキュールが上海へ移転したのか、それとも香港のものとは別に上海に新しいプロキュールが設立されたのか、曖昧なままである。ところが、前述のようにリボワは1866年に帰国するまで香港でのプロキュール館長であったし、別の参考文献に「1864年、リボワ神父は、中国における多くの宣教師たちの要請に応えて、ピエール・グザヴィエ・カゼナーヴ (1834-1912) を上海における同格プロキュール館長として任命した」("In 1864, responding to the requests of many missionaries in China, Libois installed Pierre Xavier Cazenave (1834-1912) as a fellow procurator in Shanghai.", [Charbonnier, 2021, p. 262]) という情報が見られるので、やはり1864年以降中国に二つのMEPのプロキュールが存在していたことになると考えるしかない。

MEPの上海におけるプロキュールに関する記述を、AMEPの「詳細目録」(Tables analytiques)から羅列することとしよう。残念なことに現段階ではそれらの「詳細目録」以外は原本の書簡等は入手できていないので、さらなる史料調査で内容確認を行う必要がある。

- ・リボワよりアルブラン (François ALBRAND, 1803-1867, MEP 幹部の一人) 宛の書簡, 1856年5月4日付 : « Question de la procure de Chang-haï. Désigne M. Mermet comme procureur. » [AMEP Tables analytiques Vol 312-313-314 (Procure 1837-1858)]

→リボワはその時点で上海に新しいプロキュールを建て, その館長(« procureur »)としてメルメを任命しようと考えている計画をパリ本部に伝えることが読み取れる。

- ・ギエリ (Guerry) よりルセイユ (Jean-Joseph ROUSSEILLE, 1832-1900, 1856 年から 1860 年まで香港のプロキュール館長) 宛の書簡, 1857 年 6 月 18 日付 : « La procure des Lazaristes transportée à Shang-haï. » [AMEP Tables analytiques Vol 316-317(Procure 1837-1846)]

→MEP より先にラザリスト会が上海にプロキュールを移転し, 上述の通り MEP の宣教師もそれを利用することが頻繁にあった。

- ・ルセイユより MEP 幹部各位宛の書簡, 1857 年 7 月 9 日付 : « [...] Mgr Verrolles va retourner en Manchourie avec M. Boyer. M. Aymeri sera son procureur à Shang-Haï. » [AMEP Tables analytiques Vol 312-313-314 (Procure 1837-1858)]

→ヴェロール (Emmanuel VERROLLES, 1805-1878) 満州教区司教が満州へ戻るところであるが, エームリが彼のために在上海プロキュール館長の役割を担うことが読み取れる。少し謎の記述であるが, 香港より距離的に近い上海のラザリスト会のプロキュールの方が仲介役として相応しいということなのかも知れない。とにかく上海における MEP とラザリスト会との関係は重要な課題であることは改めて確認できたと言えよう。

- ・リボワより MEP 幹部各位宛の書簡, 1858 年 4 月 12 日付 : « [...] Question d'une procure à Shang-haï. » [AMEP Tables analytiques Vol 312-313-314 (Procure 1837-1858)]

→上海にプロキュールを設立するかという課題が明確に現れている。

- ・リボワより MEP 幹部各位宛の書簡, 1863 年 3 月 25 日付 : « [...] Faveurs accordées par les messageries. Services rendus par M. Aimery [...], lazaroiste. Envoie le contrat de location d'un terrain à Shanghai [...] » [AMEP Tables analytiques Vol 316A (Hongkong 1851-1921)]

→リボワはラザリスト会のエームリが MEP の世話をしてくれていることを MEP 本部に伝え, そして上海の土地の借地契約を送付している。ここで, 上海での MEP のプロキュールの計画がかなり現実味をもったものとなってきていることが分かる。

- ・リボワより MEP 幹部各位宛の書簡, 1863 年 3 月 31 日付 : « [...] Renseignements plus détaillés sur son voyage à Shanghai et sur le terrain qu'il y a loué. Utilité d'une procure à Shanghai. Propose M. Cazenave pour y être le premier procureur [...]. M. Osouf appuie la motion de M. Libois

pour une procure à Shanghai. » [AMEP Tables analytiques Vol 316A (Hongkong 1851-1921)]

→リボワは上海に実際赴き、おそらく借地契約を結び土地も確認できたと考えられる。上海でのプロキュールの必要性を改めて訴えることが読み取れる。しかしながら必要なのかは残念ながら「詳細目録」から読み取れない。とにかくリボワは独断で新しいプロキュールを設立しようとしているのではなく、オズーフ<sup>7</sup>のような宣教師もそれを支持していることも分かる。

・リボワよりアルブラン宛の書簡、1864年5月23日付：« [...] La procure de Shanghai terminée. » [AMEP Tables analytiques Vol 316A (Hongkong 1851-1921)]

→リボワは上海のプロキュールの建設が完成したことを MEP 本部に伝えていることが読み取れる。

・リボワより MEP 幹部各位宛（？）の書簡、1866年2月25日付：« [...] Utilité de la procure de Shanghai et de celle de Singapore. Une procure à Saïgon n'est pas nécessaire. La procure générale doit demeurer à HK. Rien donc à changer au statu quo. »

[AMEP Tables analytiques Vol 316B (Hongkong 1866-1878)]

→リボワにとって、上海とシンガポールのプロキュールは必要であるが、サイゴン（現ホーチミン市）にプロキュールを設立する必要はないと主張していることが分かる。また、総合プロキュールは香港のままで良いと訴えていることも読み取れる。つまり、1864年以降中国において MEP のプロキュールが二つあり、より古い香港のプロキュールがシンガポールと上海のプロキュールを「総合プロキュール」として管轄する地位にあったことが分かる。

ちなみに、シンガポールでのプロキュールの設置も早い段階から議論されていたようで、例えば以下の記述が見られる。

・リボワより MEP 幹部各位宛の書簡、1851年6月22日付：« Nécessité de mettre un procureur à Singapore. M. Monicou [sic] conviendrait. »

[AMEP Tables analytiques Vol 312-313-314 (Procure 1837-1846)]

→シンガポールにプロキュールを設立する必要があり、その procureur としてムニクーが適切であるとリボワは主張していることが読み取れる。

・オズーフより MEP 幹部各位宛（？）の書簡、1866年4月13日付：« [...] M. Girard accorde les 4.000 fr. demandés pour la construction de la procure de Shanghai. »

[AMEP Tables analytiques Vol 316B (Hongkong 1866-1878)]

<sup>7</sup>Pierre-Marie OSOUF, 1829-1906。1856年から1862年までシンガポールのプロキュール初代館長、1866年から1875年まで香港のプロキュール館長を務めた後、1876年に北日本使徒座代理区長に任命され、1891年に東京大司教となり、死去する1906年までその任務を果たし続けた。

→日本教区上長ジラールが上海プロキュールのために申請された4,000 フランの支払いを認めることができが読み取れるが、1864年5月の時点で建設が終わっているはずなので、疑問が残る。また、その金額がどこからの資金なのか (OPF ?), なぜジラールがそれを支払う権限があったのかなど、「詳細目録」だけでは解決できない課題が残されている。

## 5. 結び

本研究ノートでは、上海のプロキュールが日本への布教活動を支える中心的役割を果たしていたことを明らかにしようとした。特に、寄港地、物資供給、情報共有、文化交流などの側面での重要性が強調できる。これにより、上海はヨーロッパからの宣教師にとって次第に「日本への扉」として機能し、日仏中三国間の関係構築に深く寄与したと考えられる。

しかしながら、上海のラザリスト会のプロキュールと在日 MEP 宣教師との関係や中国におけるプロキュール間のネットワークなど、現段階の史料だけでは解決できない問題がたくさん残されていることは言うまでもない。さらなる史料調査を行い、それらの問題の解決を別の機会へ譲りたい。

## 参考文献

- 宮里厚子「布教事業団 (L'Œuvre de la Propagation de la Foi) における日本関連資料について」、『琉球大学歐米文化論集』60号、pp.113-122、2016-03-31。
- 宮崎喜信「カトリックの日本再布教前史について—朝鮮教区設立からフォルカードの来球までを中心 に—」、日本仏学史学会第476回月例会、2016年10月22日。
- ル・ルー ブレンダン『フランスにおける日本学の先駆者メルメ・カションの活動：パリ外国宣教会資料 室所蔵史料を中心に』、東京学芸大学（博士論文）、2012年。
- Charbonnier Jean, "Appendix. The MEP in China: A Chronology from the 17th Century to the Present", in *Missions Étrangères de Paris (MEP) and China from the Seventeenth Century to the Present*, edited by Ji Li, BRILL, 2021, pp. 245-268.
- IRFA, *Présence des Missions Étrangères de Paris en Chine, 1684-1955, Repères Historiques*（「中国における MEP (1684-1955)- 略史」、2021年11月2日。
- Prudhomme Claude, *Stratégie missionnaire du Saint-Siège sous Léon XIII (1878-1903). Centralisation romaine et défis culturels*, Rome : École Française de Rome, 1994, 634 p. (Publications de l'Ecole française de Rome, 186).
- Van Den Brandt J., *Les Lazaristes en Chine 1697-1935, Notes biographiques, Recueillies et mises à jour par J. VAN DEN BRANDT Frère Lazariste*（『中国におけるラザール会士 1697-1935 略歴』、J. VAN DEN BRANDT ラザール会士により収集・編纂）、Pei-P'ing, Imprimerie des Lazaristes (ラザール会出版、ペイピン [北平=北京])、1936, pp. 52-53.

## 付録：「AMEP 史料整理\_20250106」

巻	題名	年代	内容	ページ	写真	備考
308	2 Procure de Macao	1837-1846	Lettres des étrangers reçues par les procureurs de Macao	p.702-721	36	
			1847	41		
			1848	56		
1		1847-1852	1849	93		
			1850	38		
			1851	48		
314	Procure de Hong-Kong		1852	62		
2		1853-1856	1853	65		
3		1857-1858	1854	85		
1		1847-1850	1855	127		
315	Procure de Hong-Kong		1856	91		
2		1851-1854	1857	75		
1		1855-1857	1858	187		
2		1858-1860	1847	120		
316	A(1) Procure de Hong-Kong	1859-1861	1848	46		
			1849	18		
			1850	18		
			1851	34		
			1852	6		
			1853	10		
			1854	29		
			1855	68		
			1856	61		
			1857	101		
			1858	130		
			1859	72		
			1860	83		
			1859	177		
			1860	101		
			1861	70		
			1862	103		
	A(2)	1862-1865	1863	88		
			1864	101		
			1865	31		
	B(1)	1866-1871	1866	58		
			1867	67		
01			Eloge funèbre de Mgr Forcade (1885)		写真なし？	
			Vie de Mgr Forcade (E. Marbot, 1886)		写真なし？	
			7 pochettes A4 contenant lettres et docs divers			
			notam. Notice sur la vie de Soeur Marie-Bernard (Bernadette de Lourdes), 1879			
0468	Forcade		1 Archives des Lazaristes à Rome - FORCADE Théodore - 0468	21		
02			2 Copie des registres de baptême de ND de Versailles - N°628 année 1816 - Forcade - 1er Vic. Ap. du Japon	2		
			3 Echange de lettres concernant les archives de Forcade avec le Pr. Hatakenaka (1979)	6		
			4 Archives diocésaines Aix et Arles	2	Lettre de Libois donnant pouvoirs à Forcade sur les Ryukyu	
			5 Lettres de HongKong et Macao	16		
			6 Notice biographique de Forcade	2	En latin	
			7 Le premier missionnaire catholique du Japon au XIX <sup>e</sup> siècle (1885)	88	Texte imprimé, in <i>Les missions catholiques</i>	
0558	Girard		4 pochettes colorées contenant lettres diverses (originales et photocopies)	205		
0559	Mounicou		Pochette 1 p. 1 à 28 (1844)	1-714	140	Tout le début est pris par le Journal du Père Forcade (copie manuscrite)
			Pochette 2 p. 29 à 40 (1845)		2	
			Pochette 3 p. 41 à 88 (1846)		16	
			Pochette 4 p. 89 à 140 (1846)		2	
			Pochette 5 p. 141 à 200 (1846)			
			Pochette 6 p. 201 à 256 (1846)			
			Pochette 7 p. 257 à 320 (1846)			
1	Japon	1844-1849	Pochette 8 p. 321 à 330 (1846)	346		
			Pochette 9 p. 331 à 345 (1847)			
			Pochette 10 p. 346 à 377 (1847)			
			Pochette 11 p. 378 à 423 (1848)			
			Pochette 12 p. 424 à 473 (1848)			
			Pochette 13 p. 474 à 500 (1848)			
			Pochette 14 p. 501 à 584 (1849)			
			Pochette 15 p. 585 à 649 (1849)			
			Pochette 16 p. 649 à 714 (1849)	239		
			Pochette 1 p. 715-776 (1850)	715-1470	307	
568			Pochette 2 p. 777-812 (1850)			
			Pochette 3 p. 813-834 (1850)			

			Pochette 4 p. 835-874 (1851)	
			Pochette 5 p. 875-918 (1852)	
			Pochette 6 p. 919-942 (1853)	
			Pochette 7 p. 943-946 (1854)	
			Pochette 8 p. 947-950 (1855)	236
			Pochette 9 p. 951-1010 (1855)	
			Pochette 10 p. 1011-1068 (1855)	
2	Japon	1850-1860	Pochette 11 p. 1069-1123 (1856)	
			Pochette 12 p. 1124-1157 (1857)	
			Pochette 13 p. 1158-1205 (1858)	
			Pochette 14 p. 1206-1232 (1858)	
			Pochette 15 p. 1233-1262 (1859)	
			Pochette 16 p. 1263-1308 (1859)	
			Pochette 17 p. 1309-1354 (1859)	
			Pochette 18 p. 1355-1388 (1860)	
			Pochette 19 p. 1389-1434 (1860)	
			Pochette 20 p. 1435-1470 (1860)	250
			Pochette 1 p. 1-5 (1844-45)	1-874
			Pochette 2 p. 6-7 (1839)	
			Pochette 3 p. 8-25 (1846)	
			Pochette 4 p. 26-31 (1846)	
			Pochette 5 p. 32-43 (1846)	
			Pochette 6 p. 44-75 (1847)	
			Pochette 7 p. 76-87 (1848)	215
			Pochette 8 p. 88-94 et 96-97 (1849)	
			Pochette 9 p. 95-96 et 98-135 (1850)	
			Pochette 10 p. 136-145 (1851)	
			Pochette 11 p. 146-150 (1852)	
			Pochette 12 p. 151-160 (1853)	
569	1	Japon	Pochette 13 p. 161-183 (1854)	
		1839-1862	Pochette 14 p. 184-211 (1855)	
			Pochette 15 p. 212-246 (1855)	
			Pochette 16 p. 247-325 (1856)	200
			Pochette 17 p. 326-390 (1857)	
			Pochette 18 p. 391-443 (1858)	
			Pochette 19 p. 444-483 (1859)	203
			Pochette 20 p. 484-564 (1860)	
			Pochette 21 p. 566-627 (1861)	
			Pochette 22 p. 628-680 (1861)	
			Pochette 23 p. 681-720 (1861)	
			Pochette 24 p. 721-758 (1862)	
			Pochette 25 p. 759-836 (1862)	
			Pochette 26 p. 837-874 (1862)	
577	Corée	1797-1860		
578	Corée Lettres de M. Petitnicolas	1854-1865		323 +
01-I				397
0640	01-II	Furet		255
01-III				112
		Livre de Beillevalière		
		Les Aînés Mermet de Cachon	DF-131-1	12 Texte imprimé, 1863. Tout photographié (20p.)
		Archives des Lazaristes à Rome 1		58
		Archives des Lazaristes à Rome 2		63
		Article de Francine Héral		20 Texte imprimé d'une communication à Besançon en 1996
		Mermet dossier communiqué par Mme Polak Avril 1977	G.6 11	13
		Mermet dossier communiqué par Mme David, son arrière-petite nièce, le 31 mai 1977	G.6 B	72
		Béatification et canonisation des martyrs japonais	G.6 A	
		Mermet dossier communiqué aux archives par M. Christian Polak lors de sa visite mai 1980	G.6 12	13
0659	Mermet	Japon P. Mermet Articles de Presse 1859-1963	G.6 1	40
		Japon P. Mermet Étude sur la hiérarchie japonaise	G.6 2	37
		Japon P. Mermet Lettres diverses 1861	G.6 3	51
		Japon P. Mermet Lettres diverses 1862	G.6. 4	57
		P. Rousselie Pièces diverses concernant Mermet de Cachon 1863-1864	G.6 8	14
		Japon P. Mermet Lettres au Père Rousselie 1864	G.6 7	81
		Japon P. Mermet Lettres diverses 1863	G.6 5	38
		Japon P. Mermet Documents divers 1863	G.6 6	23
		Japon P. Mermet Lettres diverses 1865-1869	G.6 9	65

			Lettres Dossier Mermet-Cachon	102
0759	Petitjean		Mgr Petitjean, 1829-1884 et la résurrection catholique du Japon au XIXe siècle [Lettres et documents divers]	92 Texte imprimé, paru en 1922. Sur les 446p., photographié jusqu'à la page 193
0901	Marin			258
0907	Armbruster	1872-1895	Lettres 1872-1873 Lettres 1878-1895	135 34 21

Tables analytiques

46	Séminaire conseil central	1858-1864	44	
47	Séminaire conseil central	1865-1870	40	
48	Séminaire conseil central	1871-1883	53	
49	Séminaire conseil central	1884-1905	17	
50	Lettres des ministères	1861-1904	15	
314	Procure de Hong-Kong	1847-1858	37	
315	Procure de Hong-Kong	1847-1858	5	
316	Procure de Hong-Kong	1855-1860	40	
316	B	Procure de Hong-Kong	1868-1880	39
569	Japon	1839-1872	45	
570	Japon merid.	1873-1883	41	
571	Japon merid. Nagasaki	1885-1905	11	
572	Japon centr.	1888-1905	6	
573	Japon sept.	1877-1900	30	
574	Tokyo	1901-1905	4	
575	Hakodate	1891-1905	5	

7765 合計